

9

ENJOY LIFE



Vol.101

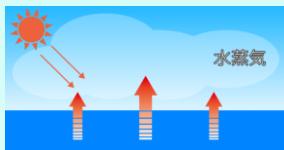
こんにちは！エンジョイライフです😊

8月が終わると段々秋に近づいてきますね～！！

9月と言えば台風の時期。雨風で被害を及ぼす影響がありあまり来てほしくない台風ですが、台風が来ることによって良い影響を与えることもあるようです(>_<)ちょっと紹介しますね！

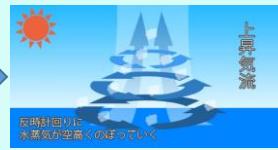
まずは、台風の仕組みです

1. 海水が水蒸気になる



海面にある水が、太陽の熱によって温められて蒸発し、水蒸気に変わります。

2. 水蒸気が上昇し、上昇気流ができる



水蒸気は、空気より軽いので上昇していき、上昇気流を作ります。
上昇気流が生じると、気圧が下がります。空気が上に昇って、地面や海面を押す力が弱くなるからです。この状態を低気圧と言います。

台風の元となる熱帯で生まれた低気圧は、熱帯低気圧と呼ばれます。

3. 積乱雲ができる



上昇した水蒸気は、上空で冷やされて大きな積乱雲を作ります。地上付近よりも上へ行くほど気温が下がるので、水蒸気は冷やされ小さな水滴に変わります。この水滴が集まつものが雲です。低気圧で急激にできる雲が、積乱雲です。

4. 雲のうずができる



地球の自転によって発生する力が、積乱雲に働く雲のうずを作ります。地球上では常に風が吹いています。その理由は、地球が西から東に向かって自転しているからです。自転の動きによってコリオリの力と呼ばれる力が発生します。この力が積乱雲に働くと、台風の特徴でもある雲のうずを作ります。

5. 热帯低気圧が台風に変わる



大きくなり、うずを巻いた積乱雲の塊(熱帯低気圧)の中心付近で、風の強さが秒速17.2メートル以上になると、熱帯低気圧が台風に変わります。

日本に来る台風のほとんどは、日本よりずっと南にあるフィリピンやインドネシアの近くで生まれます。



台風がもたらす恵みとは！？

○1つ目は雨↑

雨は災害の原因になりますが、水をもたらすプラスの側面もあります。台風の大雨によって水不足が一気に解消することもあるようです。

○2つ目は風！！

台風の特徴である風も雨と同様に災害を引き起しますが、この風によって海水温を低下します。海水温の低下はサンゴ礁及び生態系維持、ひいては水産資源の維持につながります。台風の風が私たちの食卓の恵みをもたらしているということです。

確かに台風が来なければいくつかの災害は起らなくなるかもしれません。しかし、台風が来なければ水不足や水産資源の不足が発生する可能性があります。台風は私たちにとって時として必要な存在であるということなのかもしれませんね(^^♪

とはいって、台風が来ると雨風もですが交通機関の影響等も出てきて大変ですね…

今年、台風がどれだけやってくるかは分かりませんが情報を確認し、安全に過ごしましょうね(>_<)

では、また来月よろしくお願いします♪♪

株式会社キコーエクリエイト